

居合道だより

令和7年5月

第226号

日本剣道形

打突方 教士八段 藤森晋作
受け方 教士八段 國友秀三



第55回

武道祭

社団法人福岡県剣道連盟





はじめに

福岡県剣道連盟居合道 事務局・福岡武道館居合道部 野田 尚徳

桜の花も終わり、今はつつじの花が満開になりました。実家のつつじもとても綺麗で、特に夕方の薄い光の中で観ることを母は大変好きでした。色々思い出されることも多いのですが、元気に花が咲いている事を見ながら気持ちを盛り上げていこうと思います。

昨年から伝達事項のメールでの各団体への配信が始まりました。

時代の流れではありますが、静かに推移していくものと思います。それ以外にも急な伝達事項やお知らせなども今後配信していけると、よりスムー

ズに情報が早く行きわたるものと期待しております。

また、福岡武道館を始め稽古場所の建て替えや移転に伴い稽古場所の変更も多くなってきましたが、こちらの方も極力タイムリーに情報の変更と開示ができたらと思っています。ぜひ事務局までご一報いただければと思います。

今年は、事務局員になってから、19年目を迎える年になりました。19年前に比べますと、通信手段、発送方法、報告書類の量、送金方法、体力等にかかなり変化がありまして、対応に会員の皆様方にはご迷惑をかけるばかりではないかと思いますが、一所懸命に努めますので、ご協力をよろしく願います。

福岡県武道祭

4月13日 福岡武道館において武道祭が開催されました。



居合道七段昇段に際して

北九州居合道同好会 善明 永吉



傘寿での七段審査合格に当たって
令和 7年 3月 2日の京都での審査会で七段に昇段することができました。
これも偏にご指導いただきました迫野先生をはじめ諸先生方、諸先輩方のご指導とご支援の賜物と心より御礼申し上げます

令和 3年 6月の大分での初挑戦から同 3年 11月 4年 11月の東京、5年 3月と 6年 3月の京都、6年 6月の久留米と 6回の受審ですべて不合格でした

最初の大分の受審はただ受審資格があると言うだけで、7段受審とはどういうものか事前にどういう稽古や心構えが必要かなど全く考えず当然のこととして不合格以来不合格を重ねる中で自分の歳のことも考えずなんと無謀なことを始めたのかと後悔し始めたことを思い出します

そんな不器用な自分を見捨てず根気強く指導を続けていただいた諸先生方に今度は途中で諦めたら申し訳ないと言う気持ちに変わり、もう一度もう一回だけ頑張ってみようと思いがちで参りました。

「怠らずいかば千里の果ても見ん、牛の歩みのよし遅くとも」と言うことわざを反芻しつつも、今度は年齢による肉体的な衰えと記憶力の低下など、精神的な衰えとどう向き合うべきかの迷いが生じてきました。「啐啄同時」のことわざがありますが親である師匠がいくら熱心にかかるように指導されても、受ける方がその段階ではなかったら、卵は孵らないのと同様、指導を受ける側の気づきがないと一方通行となります。それまでの自分はまさにその通りの状況だったと思います。しかしそれでも少しずつですが仮想敵への意識、作用反作用、撞木足や納刀の矯正、間や残心などのいろいろの課題が見えてきました。それまでの受審では開始線や時間超過だ、間違いの心配など、本質が外れたことばかり気にし、肝心の技はただ順番をなぞるだけで、敵を切ると言う居合の基本さえありませんでした。

今回の受審にあたっては「居合道虎の巻」と「居合道審査員の目」が大変参考になりました。

諦めたらそこで終わりです。今回の私の 7段合格で遅くから居合を始められた方にも地道に稽古を続ければ、傘寿でも昇段が可能だと思っていただけたら何よりの喜びです。

5・6月の予定・編集後記

5	1	木	居合道八段審査会	全剣連	京都市
2～5	金～日		第121回全日本剣道演武大会	全剣連	京都市
	3	土(祝)	称号(範士・教士・錬士)審査会	居合道	全剣連 京都市
	18	日	居合道部理事会・総会 居合道部	クリエイト篠栗	
6	1	日	福岡県居合道講習会及び称号講習会・級審査	福剣連	福岡市中央体育館
	7	土	(公社)福岡県剣道連盟「総会」	福剣連	福岡サンパレス
	27	金	居合道段位審査会七段・六段	全剣連	茨城県

編集後記

最近若者のパワーが凄まじく感じている。

少年たち、凄いぞ～何年か前からそういう突拍子もなくのめり込む天才タイプがいたのだが、最近、小・中・高校生の伸びがすごいやんって感じています。

もちろん若者も多くなってきて、各道場も活気付いてきていると思いますが、先日小生の近所の神社で春の例大祭が行われ、ご縁があって「ちょっと演武しちやらんね～！」と誘われたもので、よし、今回は少年中心にとセットリストを組んでみた。少年たちは最近古流が楽しくて仕方ないので、「なに抜いてもいいぞ、ただし、神様に奉納する、ギャラリーがいっぱいいる、ということだけは頭に置くように」と言明していた。ある少年は稽古以外で抜くのは初めてである。もちろん



まだ審査会も出たことがない。が、根性でやり抜けた！他の少年たちも、え？それ抜くの？@@@というような技を抜き、見事に抜ききった。

すごいなと思ったのはやると決めて抜いた「気迫」が凄かった。指導している自分で見てもすごいな～と思った。

やはり思い切って場所を用意して本気の緊張の中で舞台を踏むのは少年たちの成長の足がかりになるのだなあをつくづく思い知らされました。

た。

保護者からは「緊張した」「貴重な経験で楽しかったようです」とコメントいただいたが、こういう地域活動と少年たち若者たちがより一層羽ばたけるような機会を用意すべきだなと再認識した次第です。おじさんたちも負けてられない！楽しい活動になるように努力するよ！

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第225号 令和7年5月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW